新設事業所数の割合は大都市中第3位

~ 平成 24 年経済センサス-活動調査 産業横断的集計 ~

今号の特集では、総務省が平成26年2月26日 に公表した「平成24年経済センサス・活動調査 産業横断的集計(存続・新設・廃業別集計編)」 の中から、福岡市の概要について紹介します。

平成 24 年経済センサス・活動調査は、事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団資料を得ることを目的として、平成 24 年 2 月 1 日現在(経理事項については平成 23 年 1 年間)で実施されています。調査対象は、個人経営の農林漁業、家事サービス業、外国公務に属する事業所、国及び地方公共団体を除く全ての事業所となっています。

1. 事業所の異動状況

(1) 概況

平成24年の福岡市の事業所数は68,821事業 所で、そのうち、存続事業所数は63,385事業 所、新設事業所数は5,436事業所となっていま す。また、廃業事業所数は14,315事業所となっています。(表1)

なお,「新設事業所」とは平成24年2月1日現在 に存在した事業所のうち平成21年7月2日以降 に開設した事業所をいい、「廃業事業所」とは 平成21年経済センサス・基礎調査で調査された 事業所のうち平成24年経済センサス・活動調査 で把握されなかった事業所をいいます。

(2) 行政区別

行政区別にみると、新設事業所数は博多区が 1,580 事業所(構成比 29.1%)で最も多く、次 いで中央区が 1,509 事業所(同 27.8%)、東区 が 629 事業所(同 11.6%)となっています。新 設事業所数が総事業所数に占める割合をみる と、西区が 9.2%と最も高く、中央区が 9.0%、 博多区が 7.9%と続きます。

廃業事業所数も博多区が 4,328 事業所(同 30.2%)で最も多く,次いで中央区が 3,976 事業所(同 27.8%),東区が 1,678 事業所(同 11.7%)となっており,新設事業所数,廃業事業所数ともに,博多区と中央区で市内の半数以上を占めています。(表1)

(3) 産業大分類別

産業大分類別にみると,新設事業所数は「卸売業,小売業」が1,663事業所(構成比30.6%)

	衣 1 1 以区别,共划从沈冽争未则数																
区 分		総数(存続・新設)			存続事業所			新設事	事業原	Ť	総数に占さ	廃業事業所					
					構成比			構成比			構成比	割合	順位			構成.	比
					%			%			%	%					%
福	岡	市	68	821	100.0	63	385	100.0	5	436	100.0	7.9	_	14	315	100.	0
東		区	8	780	12.8	8	151	12.9		629	11.6	7.2	5	1	678	11.	. 7
博	多	区	20	016	29.1	18	436	29.1	1	580	29.1	7.9	3	4	328	30.	. 2
中	央	区	16	754	24.3	15	245	24.1	1	509	27.8	9.0	2	3	976	27.	. 8
南		区	7	920	11.5	7	415	11.7		505	9.3	6.4	7	1	630	11.	4
城	南	区	3	308	4.8	3	058	4.8		250	4.6	7.6	4		621	4.	. 3
早	良	区	6	884	10.0	6	397	10.1		487	9.0	7. 1	6	1	267	8.	9
西		区	5	159	7. 5	4	683	7.4		476	8.8	9. 2	1		815	5.	. 7

表 1 行政区別, 異動状況別事業所数

⁽注)事業内容等不詳を除く。

で最も多く、「宿泊業、飲食サービス業」が1,214 事業所(同22.3%)、「医療、福祉」が519事業 所(同9.5%)と続きます。

廃業事業所数も,「卸売業,小売業」が4,230 事業所(構成比29.5%)で最も多く,「宿泊業, 飲食サービス業」が2,644事業所(同18.5%), 「生活関連サービス業,娯楽業」が1,143事業 所(同8.0%)と続きます。

新設事業所数,廃業事業所数ともに「卸売業, 小売業」が約3割,「宿泊業,飲食サービス業」 が約2割を占めています。(表2,図1)

(4) 大都市との比較

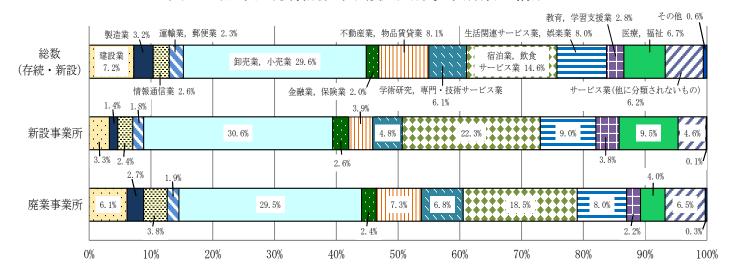
東京都区部を含む21大都市別にみると、新設 事業所数は東京都区部が最も多く29,767事業 所、次いで大阪市が11,376事業所、名古屋市が 8,404事業所となっています。福岡市は5,436事 業所で、大都市中で6番目に多くなっています。 新設事業所数が総事業所数に占める割合をみ ると、仙台市が8.3%と最も高く、神戸市が8.0%

表 2 産業大分類別、異動状況別事業所数

産業(大分類)	総数(有	序続	•新設)	存続事業	所		新設事業別	ŕ	廃業事業所			
在来(八刀類) 			構成比		ŧ	構成比		構成比		構成比		
A ¬1			%			%		%		%		
合計	68 8	21	100.0	63 38	5 1	100.0	5 436	100.0	14 315	100.0		
農林漁業		55	0.1	5	4	0.1	1	0.0	11	0.1		
鉱業,採石業,砂利採取業		10	0.0	1	0	0.0	-	_	2	0.0		
建設業	4 9	967	7. 2	4 78	9	7.6	178	3.3	878	6. 1		
製造業	2 1	171	3. 2	2 09	6	3.3	75	1.4	387	2.7		
電気・ガス・熱供給・水道業		63	0.1	6	0	0.1	3	0.1	6	0.0		
情報通信業	1 7	785	2.6	1 65	4	2.6	131	2.4	544	3.8		
運輸業, 郵便業	1 5	577	2.3	1 48	1	2.3	96	1.8	273	1.9		
卸売業, 小売業	20 3	380	29.6	18 71	7	29.5	1 663	30.6	4 230	29.5		
金融業,保険業	1 3	398	2.0	1 25	5	2.0	143	2.6	344	2.4		
不動産業,物品賃貸業	5 5	559	8. 1	5 34	9	8.4	210	3.9	1 043	7.3		
学術研究,専門・技術サービス業	4 2	208	6. 1	3 94	8	6.2	260	4.8	970	6.8		
宿泊業,飲食サービス業	10 (070	14.6	8 85	6	14.0	1 214	22.3	2 644	18.5		
生活関連サービス業,娯楽業	5 5	528	8.0	5 03	9	7.9	489	9.0	1 143	8.0		
教育,学習支援業	1 9	936	2.8	1 73	1	2.7	205	3.8	322	2.2		
医療, 福祉	4 5	599	6. 7	4 08	0	6.4	519	9.5	567	4.0		
複合サービス事業	4	259	0.4	25	8	0.4	1	0.0	17	0.1		
サービス業(他に分類されないもの)	4 2	256	6. 2	4 00	8	6.3	248	4.6	934	6.5		

⁽注)事業内容等不詳を除く。

図1 産業大分類別,異動状況別事業所数の構成比



と続き、福岡市は7.9%と3番目に高くなっています。

廃業事業所数も東京都区部が最も多く 107,659事業所,大阪市が40,580事業所,名古 屋市が23,933事業所と続き,福岡市は14,315事 業所で,21大都市中で6番目に多くなっていま す。(表3)

2. 産業大分類別売上(収入)金額

産業大分類別に売上高をみると、「卸売業、小売業」が11兆7,578億円と最も高く、次いで「製造業」が9,458億円、「医療、福祉」が9,453億円となっています。

全国に占める割合をみると、「卸売業、小売業」 及び「不動産業、物品賃貸業」が2.4%と高くなっています。

福岡県に占める割合をみると、「不動産業、物品賃貸業」が67.8%、「学術研究、専門・技術サービス業」が65.4%、「卸売業、小売業」が62.1%と高くなっています。(表4)

3. 産業大分類別付加価値額

産業大分類別に付加価値額をみると,「卸売業, 小売業」が1兆12億円 (構成比26.4%) で最も高 く,「情報通信業」が3,949億円 (同10.4%),「金 融業,保険業」が3,907億円 (同10.3%) と続いて います。

全国に占める割合をみると、「情報通信業」が3.0%、「生活関連サービス業、娯楽業」が2.4%と高くなっています。

福岡県に占める割合をみると,「情報通信業」 が86.7%,「学術研究,専門・技術サービス業」が 63.6%と高くなっています (表5)



平成 24 年経済センサス-活動調査の公表結果は、 福岡市や総務省統計局のホームページでご覧い ただけます。

福岡市の統計情報

http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/index.html 総務省統計局ホームページ

http://www.stat.go.jp/

表 3 大都市別、異動状況別事業所数

	総数(存	三続・	新設)									廃業事業所		
	7,2 394 (14 7)2			存続事業所			新設事業所			総数に占	める) b j k 4	/(///	
			順位		, . ,	順位			順位	割合	順位			順位
札幌市	74	335	5	68	934	6	5	401	7	% 7. 3	4	15	385	5
仙台市	45	845	10	42	048	10	3	797	8	8.3	1	9	674	10
さいたま市	40	692	13	38	118	13	2	574	11	6.3	9	7	130	12
千葉市	28	629	20	26	866	20	1	763	18	6.2	11	5	056	20
東京都区部	498	735	1	468	968	1	29	767	1	6.0	14	107	659	1
横浜市	114	454	4	106	907	4	7	547	4	6.6	7	21	875	4
川崎市	40	916	12	38	459	12	2	457	12	6.0	13	7	086	13
相模原市	23	124	21	21	664	21	1	460	21	6.3	10	4	181	21
新潟市	35	817	16	34	049	16	1	768	17	4.9	21	5	472	17
静岡市	36	579	14	34	676	14	1	903	15	5.2	18	6	086	14
浜松市	36	445	15	34	574	15	1	871	16	5. 1	20	5	964	15
名古屋市	121	778	3	113	374	3	8	404	3	6.9	5	23	933	3
京都市	73	391	6	69	603	5	3	788	9	5.2	19	12	954	8
大阪市	189	234	2	177	858	2	11	376	2	6.0	12	40	580	2
堺市	29	198	19	27	544	19	1	654	20	5. 7	15	5	437	18
神戸市	67	806	8	62	368	8	5	438	5	8.0	2	14	001	7
岡山市	31	318	17	29	580	17	1	738	19	5.5	16	5	167	19
広島市	53	302	9	49	896	9	3	406	10	6.4	8	10	478	9
北九州市	43	288	11	40	895	11	2	393	13	5.5	17	7	963	11
福岡市	68	821	7	63	385	7	5	436	6	7. 9	3	14	315	6
熊本市	30	156	18	28	165	18	1	991	14	6.6	6	5	596	16

表 4 産業大分類別売上(収入)金額

産業(大分類)		全国			福岡県			岡市	ĵ	全国に 占める割合	福岡県に 占める割合	
		百	万円		Ĕ	百万円		百	万円	%	%	
合 計	989	416	380	33	647	681	15	787	800	1.6	46.9	
農林漁業	3	886	546		75	126		12	077	0.3	16.1	
鉱業,採石業,砂利採取業		570	711		13	131		1	537	0.3	11.7	
建設業												
製造業	299	807	172	8	542	400		945	824	0.3	11. 1	
電気・ガス・熱供給・水道業												
情報通信業												
運輸業, 郵便業												
卸売業, 小売業	491	817	788	18	927	146	11	757	784	2.4	62. 1	
金融業, 保険業												
不動産業,物品賃貸業	34	704	915	1	207	588		819	299	2.4	67.8	
学術研究,専門・技術サービス業	27	082	952		675	962		442	197	1.6	65.4	
宿泊業、飲食サービス業	19	048	300		684	914		336	398	1.8	49. 1	
生活関連サービス業,娯楽業	36	934	707	1	253	399		527	399	1.4	42.1	
教育,学習支援業												
医療,福祉	75	563	289	2	268	015		945	285	1.3	41.7	
複合サービス事業												
サービス業(他に分類されないもの)												

⁽注1)必要な事項の数値が得られた事業所(「外国の会社」及び「法人でない団体」を除く)を対象として集計。

表 5 產業大分類別付加価値額

産業 (大分類)	全国	全国 構成比 福岡県 構成比 福岡市 構		構成比	全国に 占める割合	福岡県に 占める割合		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	%
合 計	244 667 150	100.0	8 487 883	100.0	3 798 293	100.0	1.6	44. 7
農林漁業	898 829	0.4	22 412	0.3	3 035	0.1	0.3	13.5
鉱業,採石業,砂利採取業	201 349	0.1	2 704	0.0	187	0.0	0.1	6.9
建設業	15 686 089	6.4	627 873	7.4	273 191	7.2	1.7	43.5
製造業	48 592 918	19.9	1 164 340	13.7	144 236	3.8	0.3	12.4
電気・ガス・熱供給・水道業	2 758 809	1.1	32 163	0.4	17 526	0.5	0.6	54. 5
情報通信業	13 136 596	5.4	455 505	5.4	394 884	10.4	3.0	86.7
運輸業,郵便業	14 097 422	5.8	555 229	6.5	228 307	6.0	1.6	41.1
卸売業,小売業	51 300 181	21.0	2 015 321	23.7	1 001 243	26.4	2.0	49.7
金融業,保険業	18 804 752	7.7	622 348	7.3	390 728	10.3	2.1	62.8
不動産業,物品賃貸業	8 281 826	3.4	276 400	3.3	173 152	4.6	2.1	62.6
学術研究,専門・技術サービス業	11 120 095	4.5	268 373	3.2	170 585	4.5	1.5	63.6
宿泊業,飲食サービス業	7 938 492	3.2	292 377	3.4	140 622	3.7	1.8	48.1
生活関連サービス業,娯楽業	6 508 359	2.7	299 549	3.5	157 753	4.2	2.4	52.7
教育,学習支援業	5 731 980	2.3	236 126	2.8	122 321	3.2	2.1	51.8
医療,福祉	25 493 786	10.4	1 115 141	13.1	331 902	8.7	1.3	29.8
複合サービス事業	1 525 828	0.6	48 235	0.6	12 057	0.3	0.8	25.0
サービス業(他に分類されないもの)	12 589 839	5. 1	453 787	5. 3	236 564	6. 2	1.9	52. 1

⁽注1) 必要な事項の数値が得られた事業所(外国の会社及び法人でない団体を除く)を対象として集計。

⁽注2)複数事業所企業の事業所(他の事業所との間に本所・支所の関係を持つ事業所)について、事業の性質上、 売上を事業所ごとに分けて算出することが困難な産業については、記載をしていない。

⁽注2) 事業所単位の付加価値額は、企業単位で把握した付加価値額を事業従事者数(※)により傘下事業所に按分することにより、 全産業について集計。

^(※) 事業従事者教…当該事業所で実際に働いている人の数。 (「従業者数」から「別経営の事業所への派遣従業者」を除き「別経営の事業所からの派遣従業者」を含めた数。)